

# 熱のVoice ②

## 強みホルダー編

汐留アーバンエネルギー株式会社  
技術部 課長代理

# 新井 教能



「高度な専門性・交渉能力を必要とする技術営業で培ったノウハウを、  
お客さま対応や社内の情報提供に活かす」

主な業務の内容を教えてください。

**新井** 弊社の技術部は、エネルギーセンターの運営管理を行なう職員2名と本社業務を行なう職員3名の計5名で、私は2013年の入社以来、本社業務のメンバーとして、主に行政対応、熱使用量の報告など定期的なお客さま対応、さらなる省エネ化を図るための運転データの分析、安定供給を持続するための保守契約および資材管理に関する業務に携わっています。部内では連携を密にし、一体となって安全・安定供給のために日々の業務に取り組んでいます。  
**それらの業務に活かされているあなたの強みや特徴を教えてください。**

**新井** 前職は設備関連メーカーの技術営業員でした。取り扱う製品の専門性が高く、説明や提案をする際に苦勞しました。そのため、分かりやすく伝える努力を現在の業務でも心掛けています。例えば、取引メーターの点検では、お客さまに点検中の計量方法や計量結果等をご説明して

いますが、ご担当者様が関係部署に説明する場合も想定して、見やすく分かりやすい資料づくりに気をつけています。また、これまで培ってきたコミュニケーション力や資料づくりの経験が、社内の情報共有や連携にも活かしているように思います。

**お仕事の楽しさ、やりがいなどを伺わせてください。**

**新井** 弊社は汐留駅周辺の5棟の高層ビルを中心に熱を供給しています。お客さまの建物を見上げた際に、自分の会社はこれら巨大な建物の快適な空調を支えるため、絶えず「熱」をつくり、お届けしているのだなと、ふと思うことがあります。この仕事に携わっていることに大きな責任とやりがいを感じる瞬間です。熱供給会社は目立たぬ存在ですが、この存在をもっと多くの人に知っていただけると嬉しいですね。

**今後の目標をお聞かせ下さい。**

**新井** 弊社は供給開始後15年が経過し、今後、プラントの大規模リニ



エネルギーセンター担当職員と打ち合わせる新井氏

ューアルに向けて重要な時期を迎えます。安全・安定供給を継続しつつ、さらに環境負荷が小さい地域熱供給へと発展するために、技術部の一員として一層励んで参ります。そのためにも、資格取得に挑戦するなど必要な知識や技術を充実させていきたいです。

### 新井 教能 氏 (Arai Noritaka) 略歴

工学部応用化学科を卒業後、設備関連のメーカーを経て2013年4月1日に入社。エネルギー管理士、電気主任技術者3種、甲種危険物取扱者を保有。剣道教室へ子どもを送迎するうちに、断りきれずに剣道をはじめ1年半(子どもよりも稽古に励んでいると妻にからかわれています)。

(取材：平田 義雄 広報委員)